

第5回 在宅療養を支えるスタッフのための多職種連携研修会 -医療と介護の連携・協働を目指して- 開催要領

1 目的

本人の意向に沿った支援を行うためには、本人を中心として、家族等や在宅療養を支える医療・介護の専門職が日常的にうまくつながってチームで協働しながら支援していくことが肝要である。しかしながら、本人・家族等の思いや意見が違う場合や多職種間で情報や認識、考え方にズレがある場合は、何が最善の支援なのか悩みを抱える事例もある。

そこで本研修は、在宅医療・介護サービスを受ける利用者に最も頻度高く関わる介護職と、介護職と連携頻度が高い医療職を対象に、本人の意向に沿った支援のために、どのような関わりが必要か、何ができるかを共通認識として学びを深める。さらに、事例検討を通じて異なる職種の専門性を尊重しながら支援の在り方を検討し、本人の意向に沿った多職種連携の実現を目指す。

2 目標

- (1) 支援者として、共通認識しておくことが望ましい基礎的事項と実践例について学びを深め、介入時に何を考え、どのような行動（態度）をとることが必要かということが理解できる。
- (2) 自分自身の判断、態度、行動の根拠を説明できる。
- (3) 事例検討を通じて、支援者自身の気づきや相互理解を深め、本人を中心とした多職種連携の実践力を養うことができる。
- (4) 互いの専門職の視点や専門性を理解できる。

3 テーマ

「よかれと思って」から「本人の意向」に沿った支援へ～事例を通して考えてみませんか？～

4 日時

8月26日（火） 18：30～20：30

5 方法

参集型

6 開催場所

呉市役所 201・202・203 会議室

7 対象

地域医療連携室、地域包括ケア病棟、高齢者相談室、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所、訪問介護事業所、通所リハビリテーション、通所介護事業所にお勤めの方、テーマに関心のある方

8 定員

先着50名

9 内容

(1) 講演

テーマ「ご本人の願いや希望を応援する」

講師：Office 夢風舎 フリーランスソーシャルワーカー 土屋 徹 氏

(2) グループワーク

テーマ「本人にとっての最善をみんなで考えよう」

10 評価方法

研修終了後に参加者へアンケートを行う